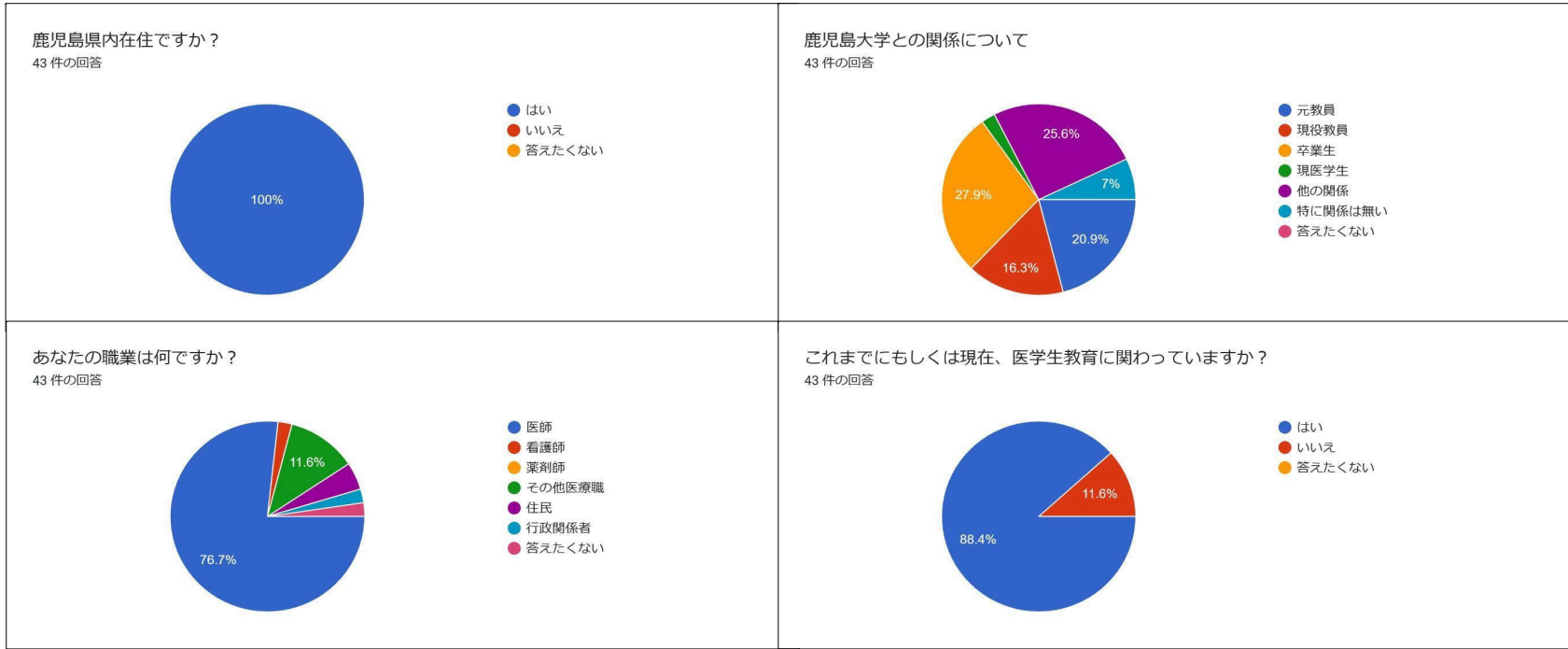


アンケート回答結果



今後の医学生教育に役立てるために、できるだけご意見をいただければ、幸いです。（自由記述）【32件の回答】

1	知識の詰め込みではなく、人としての教育も必要と感じます。他大学との比較ができず、世代的な問題かもしれませんが、学生の質の低下を感じます。
2	基本的な人格形成が必要。正解はないと思われるがヒトとは何か社会とは何かを考える姿勢が求められると思います。
3	参加型の実習を提供できる機会をもう少し増やしてあげたいが、マンパワーの問題で叶わない時がある。
4	水平統合は不十分。垂直統合はほとんどされてないように思います。
5	命を守る心優しい医師の育成に大いに期待しております。
6	数値に重点を置いた治療判断でなく、患者のヒストリーを考慮し、薬物だけに頼らない治療を行うことのできる自立した医療人の育成に期待します。

7	医学部医学科の教育理念の文章について、大筋、問題はないと思いますが、「医学部医学科での教育理念や教育到達目標を、国民と、世界のために、時代に即したものに改変して行く」とのことでしたので、「国際交流の重要性を理解し、それに必要な語学力、医学知識、教養を身につける。（これは、北海道大学医学部の理念の「行動目標」に記載の文章を引用しただけです）」といった、国際的に貢献できる医師になるための具体的な案に言及した文章もあっていいのではないかと、思いました。
8	ディプロマ・ポリシー等の記載に関しては異論ありません。ただ、これは鹿児島大学医学部だけの問題ではないと思いますが、現在のカリキュラムでは時間的制約が大きく、【教育到達目標】の1の「医学、医療、それに関連する自然科学、人文・社会科学の知識を修得して、実践に活用することができる」の”自然科学、人文・社会科学の知識を修得する”ということが十分達成されているとはいえないように思います。幅広い教養を身につける教育環境を提供することは学生の多様性確保にもつながると思います。大変難しい問題だと思いますが、共通教育のプログラムに関して大学としてもっと何か手を打たないといけないのではないかと強く感じます。
9	自分は外科医であるが、外科を希望する医学生が少ないことを残念に思う。学生時代に糸結び、縫合の技能を競うような実習があれば良いと思う。
10	学外実習を多く取り入れて、地域医療に興味を持ってもらいたい。市内だけでなく、過疎地域での見学実習を積極的に導入してもらいたい。
11	教育理念はしっかりしているが、学生の質自体は変わっていない。コミュニケーション力は年々低下、入学以前の教育の問題も大きいと思われる。筆記試験メインの入試の仕組みも考え直す時期ではないかと思われる。
12	学生の病院見学に協力していますが、本当に医学生の役に立っているのか、よくわかりません。現場の一部を見てもらって、興味を持ってくれる学生もいたり、一部を見て、この診療科は合わないかと判断されたりしていないか、不安もあります。望ましい病院見学の資料などあればいいと思います。
13	特にございません。
14	現在の教育内容がよく理解できていませんが、日本や世界の医療体制、医療経済、医療倫理についての教育がさらに必要だと思います。医師の使命感がもっと醸成されるような教育についても検討してほしいです。
15	患者家族、同僚、コメディカルとコミュニケーションをとり、チームで働くことの大切さを理解できる人材育成を望みます。
16	ここまで、学生の間になんかとも基礎ができる教育が実際できれば、と思う素晴らしい教育理念と到達目標だと考えます。付け加えることは思いつきません。あとは結果に期待します。
17	実習での達成ポイントを示していただけると教える側としてもやりやすくなります。
18	現在は鹿児島市内の病院で担当していますが、前もって具体的にどのようなことを経験したいとか、診てみたいとかがわかっているとっとお役に立てるのではないかと思います。
19	とても良いと思います。付け加える意見は、ありません。
20	ポリシーはもう少し鹿児島の特徴を持ったものにするほうが良いかと考えます。また、小生の北海道での経験からですが、鹿児島の医師の良いところは、患者に優しく、真摯である医師が多いことです。これは医師にとって最も重要で誇るべきことだと思います。なぜ、鹿児島の医師がそのように教育されるのかは明確ではありませんが、なかなか評価されていない部分だと思います。医学に真摯なだけでなく、患者に向き合う医師が多いことをもっと、学生に伝えられればポリシーの文言以上に教育の成果は上がる気がします。
21	医師のキャリアプラン（自分がやりたいこと）のみが中心になっている現状から、地域に求められている医療にどうして貢献していくのか（遠回りのように見ても）、どうやったら自分が所属する医療機関の役割を向上させ、ひいては地域全体の医療レベルが上がっていくかの視点が必要だと思います。
22	スタッフ、患者さんとのコミュニケーションのとり方がうまくできない、先生が多いように感じます。まずは挨拶、身だしなみなど基本的なところから円滑な関係を築くことができる必要があると思います。
23	教育方針は分かりますが、学生がどんなことをやりたい、目指して、当施設に来るのか、事前に情報提供があれば、対応を工夫します。

24	社会性や倫理観など不十分な若い方が増えていますので、医師としてリーダーになる方にはその点を特に持っていただける事を期待しております。
25	平素より大変お世話になっております。3年生の体験実習でお世話になっております。誠にありがとうございます。素晴らしい理念であるとおもいました。一点、理想的な内容が平面的に記載されているため、学生や若い医師・部外の指導医に対して、時間軸で表現する内容があれば、（これくらいでこのようにステップアップできる、こうして成長しているなど）もっと魅力的であり、具現化したものが達成されるような気がしました。
26	1) AIなどの最新のテクノロジーを医療分野に応用している事例（とくに世界）についての教育も必要。今後、いわゆる医師・医療だけではなく、先端ヘルスケア分野に医学・医療のスペシャリストとして研究・開発していきける人材を育成する必要がある。 2) がん医療の先端のみならず、緩和ケアなどの分野の教育も必要。しかし、いわゆる「寄り添う」など変な概念的なものではなく、きっちりとした医学・薬学・科学的な教育をしていく必要がある。 3) 経営学的な感覚の醸成も必要。保険診療がどのようにしてなりたっているのか？病院やクリニックの経営にはどのような知識が必要なのか？しっかりと教育していくべき。 4) 文化・教養を身につけることも。教養や常識がない医師は今後使い物にならない。本当の意味でのエリート・エグゼクティブとして医師の立ち位置を自覚し、維持する必要がある。（ただの労働者にならないために）
27	地域包括ケアシステムへの理解や積極的関与についても触れていただければ、と思います。
28	知識も大切ですが、経験をする事も重要と思います。実習などお願いしたいと思います。
29	毎年医学部医学科1年生、5・6年生の実習に携わらせていただいています。○【教育到達目標】について ■2b. 以下のように追記してはどうでしょうか？ b. 基本的診療手技とコミュニケーション技能を身につけ、患者ならびにその家族の声をよく聴き、良好な対人関係を築いて診療を行うことができる v. 患者から適切な情報収集を行い、データを解釈して頻度の高い疾患の診断を行い、診療方針を計画することができる ■dに、LGBTQや昨今の多様性に鑑みた医療の適切な提供のための必要な知識や技能の習得のニュアンスを追加 ■全体に追加 ▪ 終末期における緩和医療の適切な提供と医療連携のための必要な知識や技能の習得 ▪ 在宅医療についての必要な知識や技能の習得（3bに含まれる？） ▪ 患者だけではなく家族のケアも含むというニュアンスの追加（できれば遺族も）など。
30	特になし
31	倫理観と共に高い高潔性を求めます。
32	すばらしい教育理念を拝見させていただきました。連携（医師を頂点としたピラミッド型ではない、多職種との協働）や学際的重要性、地域医療の現場の状況の認識他色々な観点からの理念に敬服いたします。